



一日も早い戦火の終息を
心から祈ります。

第4回 食と農の未来フォーラム

「都市住民こそ他人事じゃない！ 私たちの食べものは大丈夫？」

ゲスト：榊田みどりさん（農業ジャーナリスト、明治大学客員教授、農政ジャーナリストの会幹事）



写真は左から東京・青山公園（2025.3/30）、新潟・上越市大賀（2025.8/9）、枝豆を収穫する榊田みどりさん

ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」
主宰 中田哲也
e-mail; foodmileage(アットマーク)jcom.home.ne.jp



（本資料は後日、共有します。）

ご挨拶と自己紹介



1960年 徳島市生まれ

1982年3月 岡山大学農学部卒業、2012年 千葉大学大学院園芸学研究科修了
博士(農学)

1982年4月 農林水産省入省

2001年4月～3年7月の間、農林水産政策研究所において篠原孝所長
(現・衆院議員)の指導の下、フード・マイレージに関する研究に従事

その後、九州農政局(熊本市)、北陸農政局(金沢市)、統計部数理官等を経
て2020年3月 定年退職。2025年3月、再任用終了

個人的なライフワークとしてフード・マイレージの普及等に取り組み
ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」主宰

(ブログ、メルマガなど) <http://food-mileage.jp>

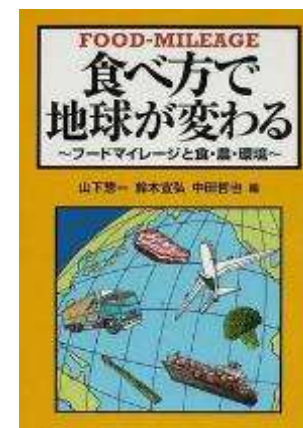
著書『フード・マイレージーあなたの食が地球を変える』
(2018(新版)、日本評論社)

『食べ方で地球が変わる フードマイレージと食・農・環境』
(山下惣一氏、鈴木宣弘氏との共著、2007.7、創森社) 等

東京・東村山市在住。

自宅近くに市民農園の一画(30平米)を借りて農作業の真似事。

(ただし2025年度は抽選に外れ)



「食と農の未来フォーラム」の開催について



写真:野生キンラン（東京・東村山市）、堰浚いボランティア（福島・喜多方市）、PresentTree植樹イベント（山梨・笛吹市）

1 開催の趣旨と目的

（１）現在、食と農は、様々な深刻な課題に直面しています。

例：食料自給率の低迷、担い手・農地など生産基盤の脆弱化、栄養バランスの崩れと食生活の乱れ、膨大な食品ロス等

（２）これらの課題の多くは、基本的に「食(食卓、消費者、都市)と農(産地、生産者、農村)の間の距離」が離れてしまっていることに起因しています。

多くの都市の消費者にとって、食べものは、お金さえ出せばいつでもいくらでも買える単なる「商品」に過ぎなくなっており、それが、どこで、誰によって、どのように生産されて食卓まで運ばれてきているかを、想像できなくなっています。

（３）本フォーラムは、都市の一般市民（消費者）の方々を主な対象として、食と農の現場の実情と課題を身近に感じ、自主的な行動変容につなげて頂くことを期待して、中田個人（ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」）の主催により開催するものです。食や農の現状に興味・関心をお持ち方など、幅広い皆様の参加をお待ちしています。

食と農の未来フォーラム（続き）

2 スケジュールと内容

【第1回】2025年6月30日（月）午後7時～9時、オンライン（終了）

[概要、説明資料→]



「食と農の未来フォーラムの開催について一なぜ農業問題は都市住民（消費者）の問題なのか」をテーマに
中田から説明と問題提起を行い、今後のフォーラムの取り進め方や要望等について意見交換。

【第2回】7月23日（水）午後7時～9時、オンライン（終了）

[概要、説明資料→]



ゲスト：大友 治さん（本木・早稲谷 堰と里山を守る会、福島・喜多方市山都）

テーマ：「米は田んぼだけで作られるのではない 稲作が生産するのは米だけではない
ー江戸時代から山間部の棚田を潤す本木上堰の現状と課題ー」

【第3回】8月26日（火）午後7時～9時、オンライン（終了）

[概要、説明資料→]



ゲスト：鈴木純子さん（ふくしまオーガニックコットンプロジェクト、福島・いわき市）

テーマ：「原発被災地でオーガニックコットンを育てること」（仮題）

【第4回】9月20日（土）（本日）午後7時～9時、オンライン

ゲスト：榊田みどりさん（農業ジャーナリスト、明治大学客員教授、農政ジャーナリストの会幹事）

テーマ：「都市住民こそ他人事じゃない！ 私たちの食べものは大丈夫？」（仮題）

【第5回以降】

- （1）月1回程度の頻度で、食や農の「現場」に精通しているゲストをお招きして開催
- （2）基本的にオンライン（zoomを利用）、年数回は料理教室や現地見学会をリアルで開催する予定
- （3）ゲストの人選や内容については、参加者からの意見・要望を踏まえて決定

（第6回（11月）はパレスチナ問題を予定）

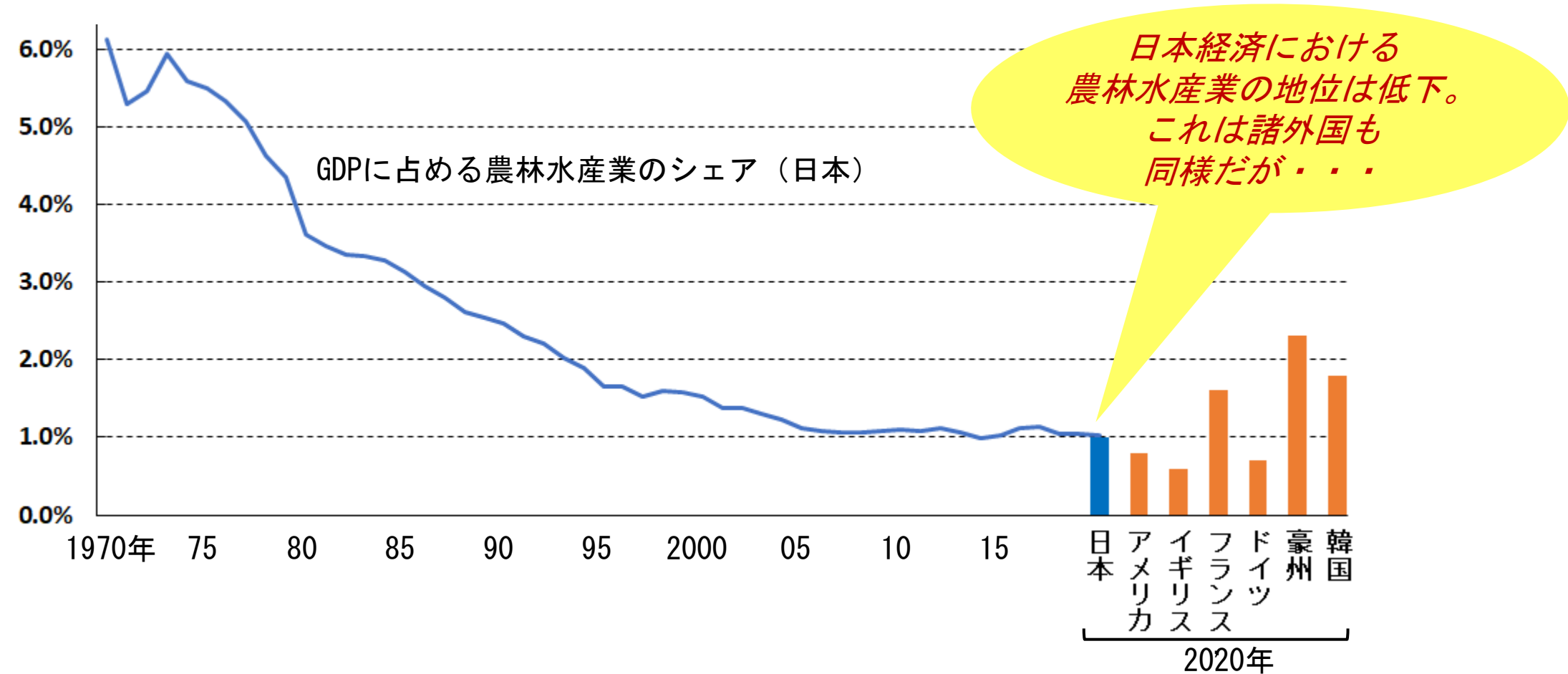


図258 国内総生産（GDP）に占める農林水産業のシェア

資料：内閣府「国民経済計算」、農林水産省「令和4年度農林水産業ひとロメモ」から作成。
出典：ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」 (<https://food-mileage.jp/2023/01/12/mame-258/>)

注：図の番号は拙メルマガの号数

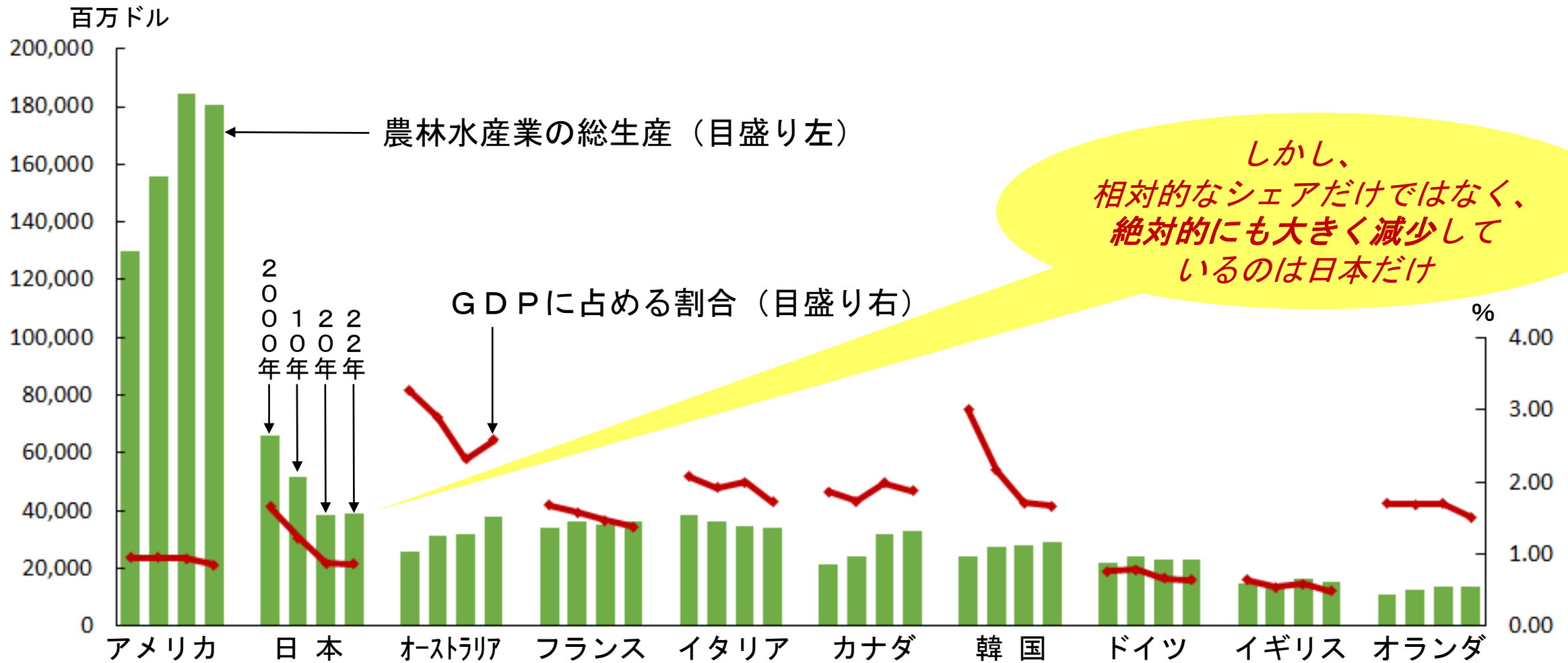


図300 農林水産業の総生産とGDPに占めるシェアの推移（2000～22年）

資料：UN “National Accounts – Analysis of Main Aggregates (AMA)” から作成。

出典：ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」 (<https://food-mileage.jp/2024/09/25/mame-300/>)

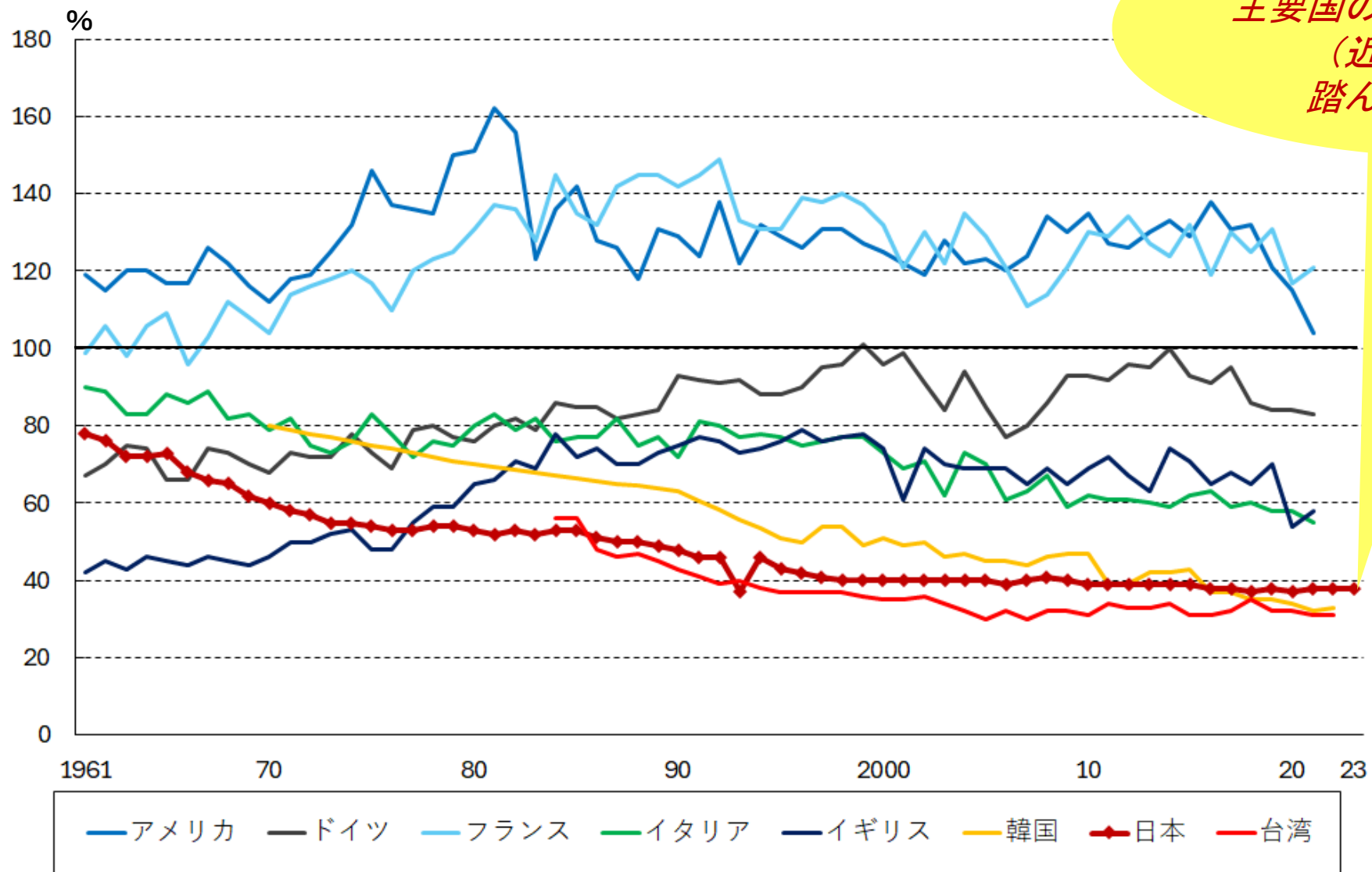


図 カロリーベース食料自給率の推移

資料：農林水産省「食料需給表」から作成。

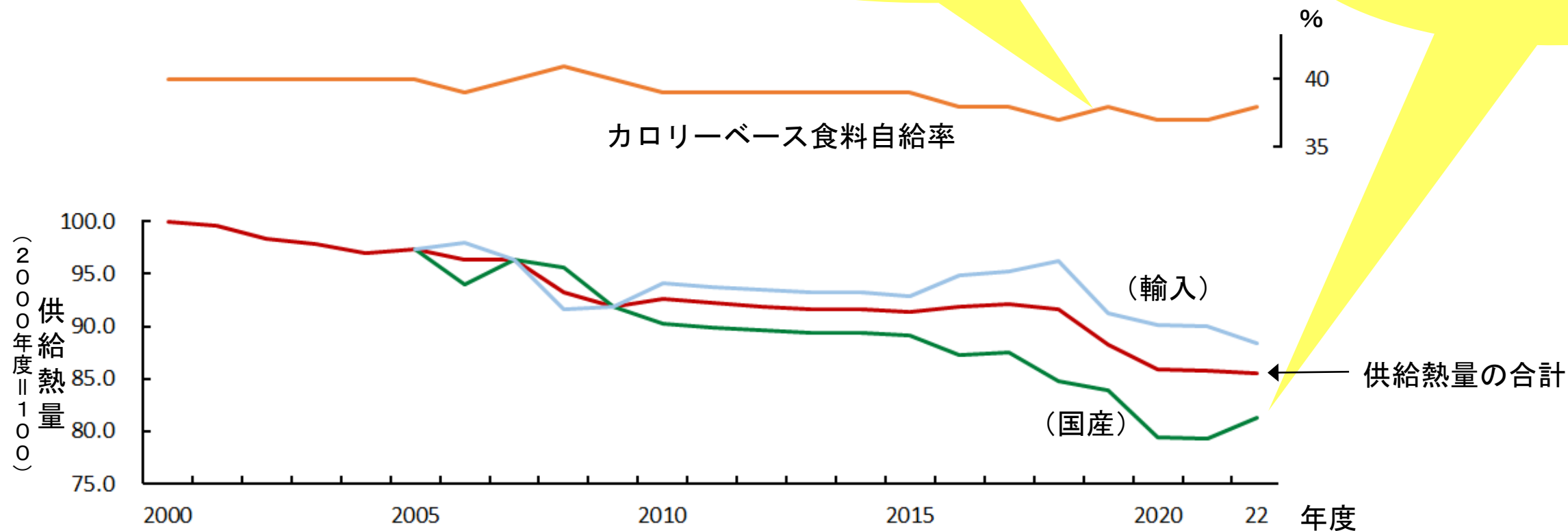
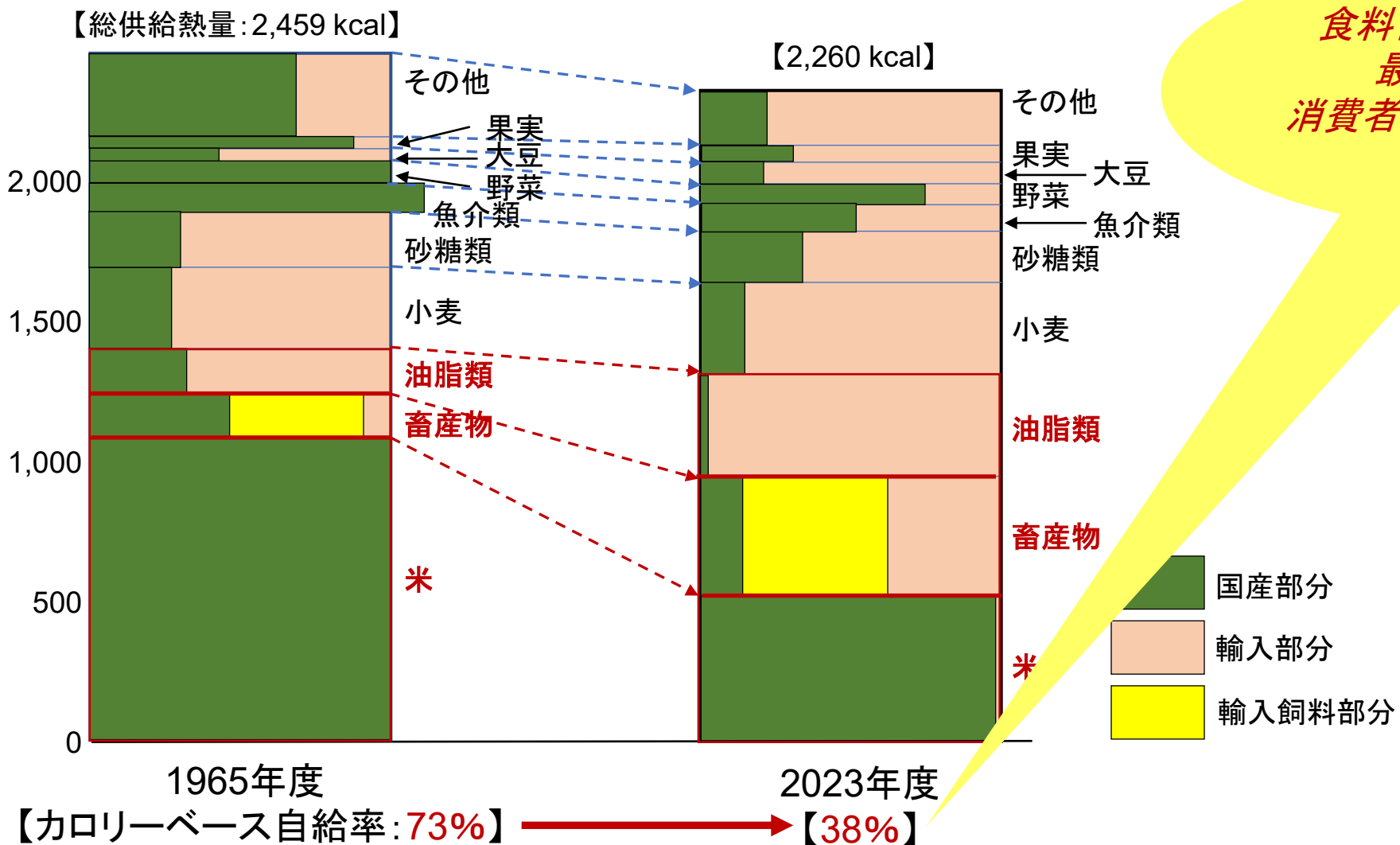


図287 供給熱量とカロリーベース食料自給率の推移

資料：農林水産省「食料需給表」から作成。

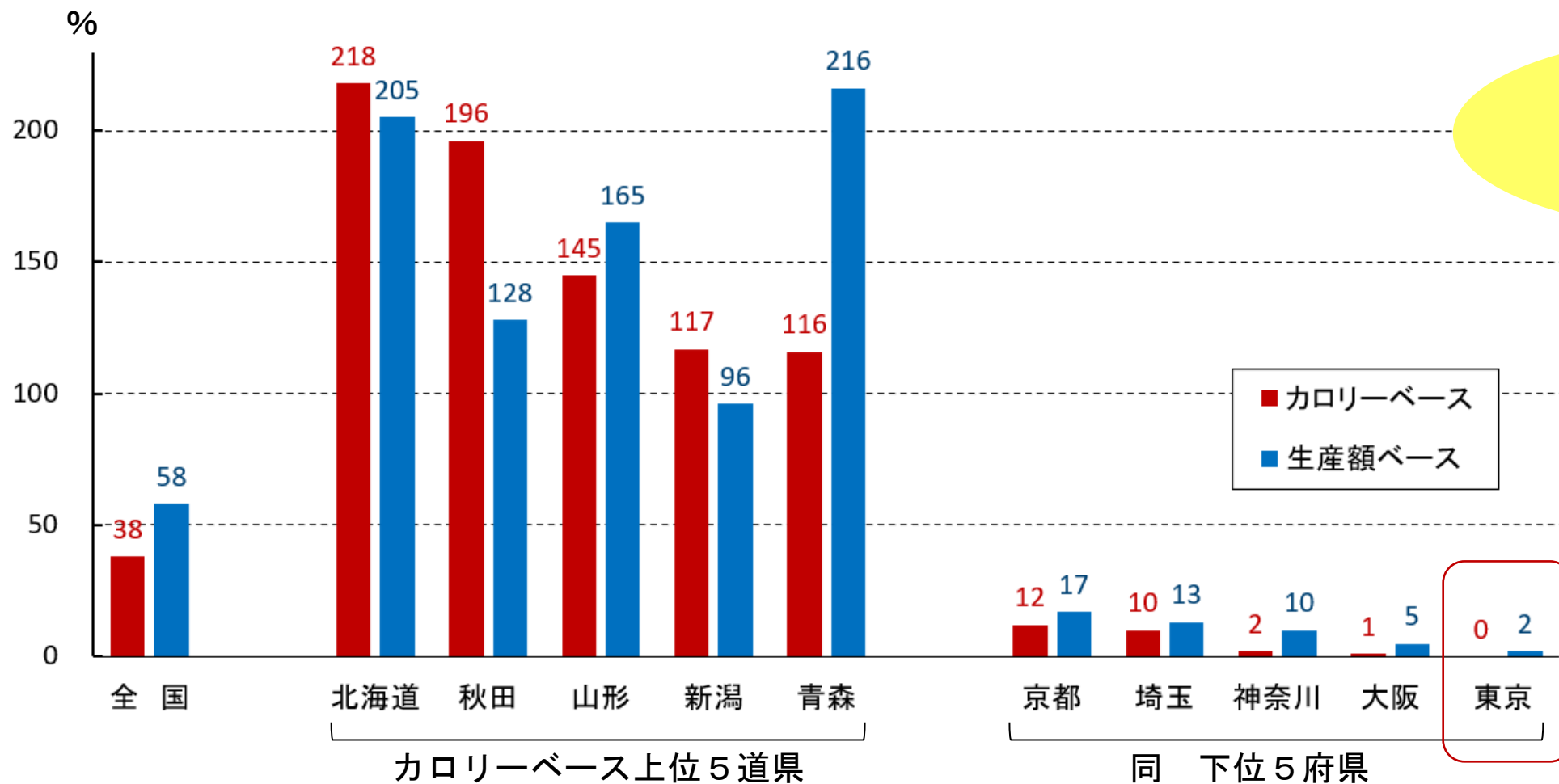
出典：フード・マイレージ資料室 (<https://food-mileage.jp/2024/03/16/mame-287/>)



食料自給率が低下した
最大の要因は、
消費者の食生活(食の選択)
の変化

図 供給熱量の構成変化と食料自給率の推移 (1965～2023年度)

資料：農林水産省「食料需給表」から作成。

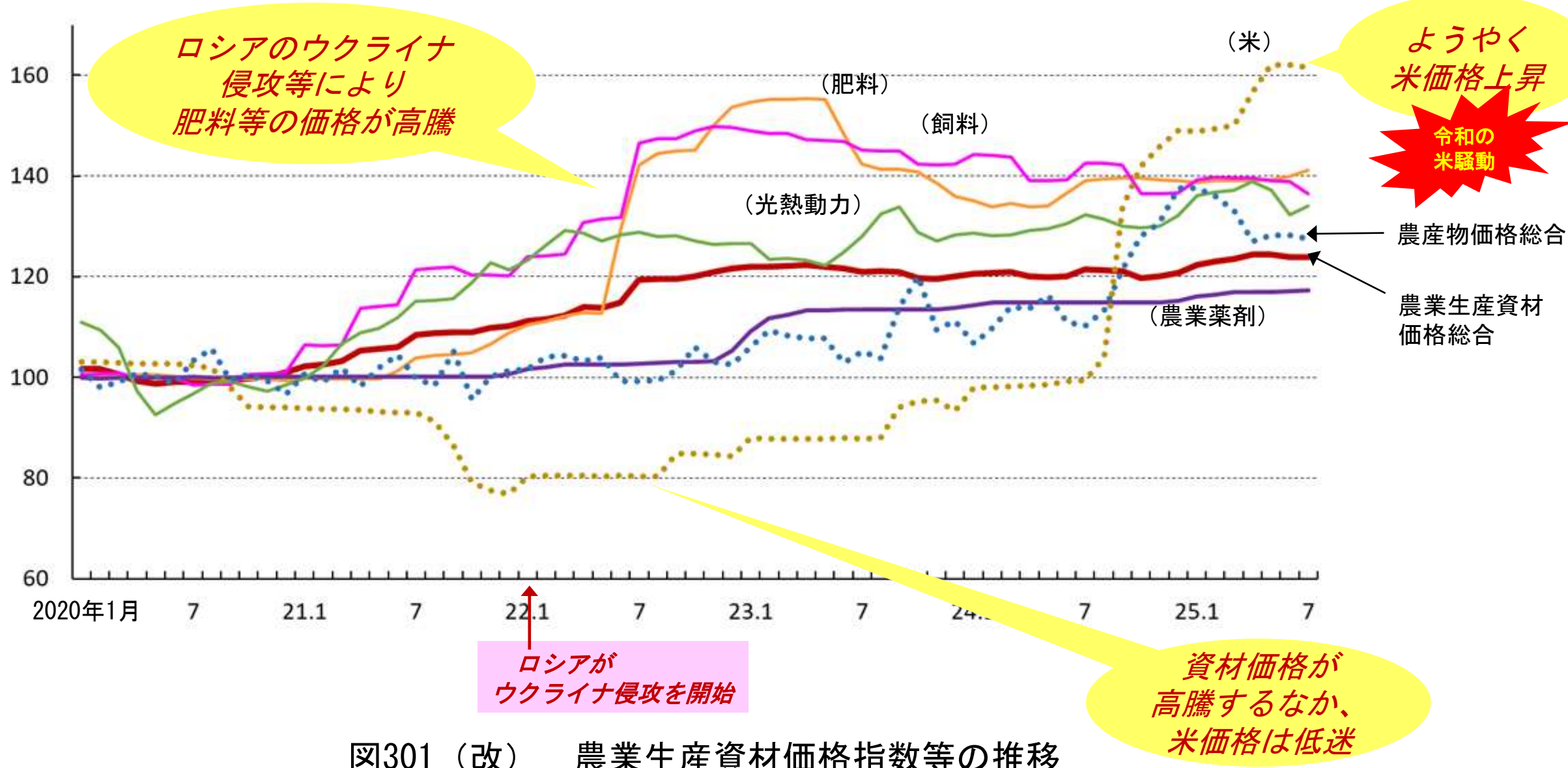


最初に飢えるのは
大都会の住民？

図312 都道府県別の食料自給率（2022年度 概算）

資料：農林水産省「都道府県別食料自給率」から作成。

出典：フード・マイレージ資料室 (<https://food-mileage.jp/2025/03/27/mame-312/>)

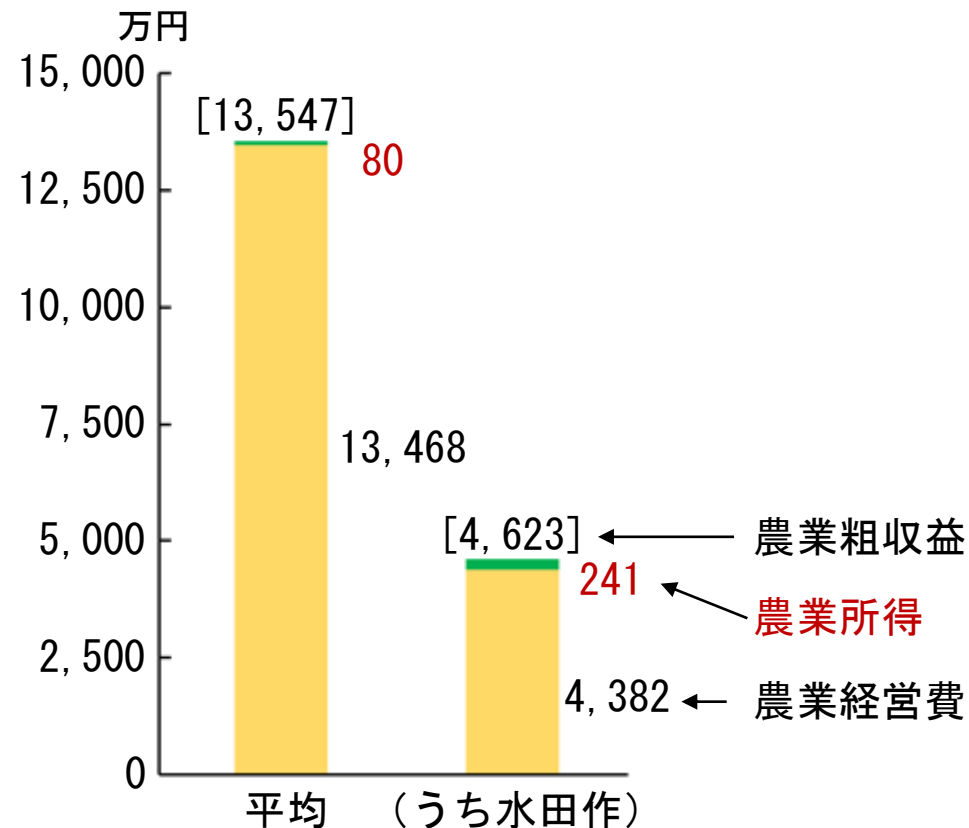
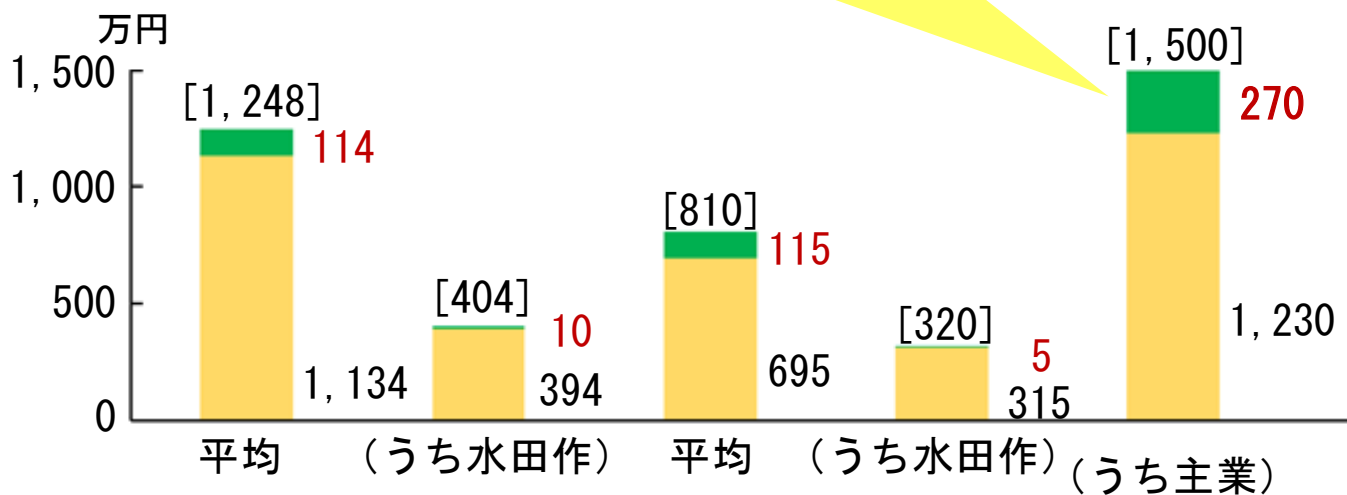


資料：農林水産省「農業物価統計」から作成。

注：2020年を100とした指数の推移であり、農業経営の収益性等を直接表すものではない。

出典：ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」<https://food-mileage.jp/2024/10/09/mame-301/>

担い手の米作農家は、5.38人
(うち家族2.71人)が
農業に従事し、所得は270万円



4.54	3.79	4.19	3.52	5.38	14.01	17.43	← 農業従事者数
2,614	995	2,262	878	3,024	12,728	6,791 時間	← 自営農業労働時間
68.2	70.4	68.4	70.5	59.7	61.6	67.2 歳	← 経営主の平均年齢

全農業経営体

個別経営体

法人経営体

図325(予定) 経営タイプ別にみた農業経営収支 (2023年)

資料：農林水産省「営農類型別農業経営統計」から作成。

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/einou/index.html>

注：主業経営体とは、個人経営体のうち、農業所得が主で、自営農業に60日以上従事している65歳未満の者がいる経営体をいう。

出典：ウェブサイト「フード・マイレージ資料室」<https://food-mileage.jp/>

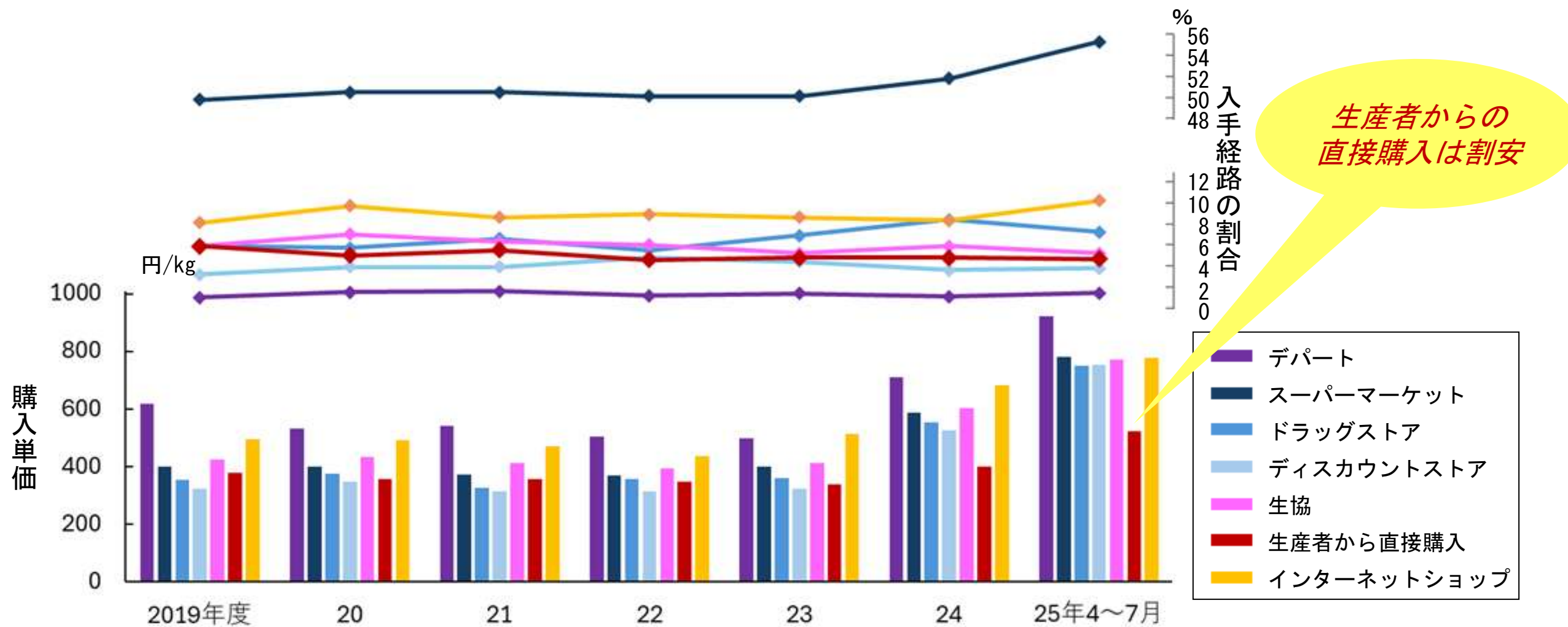


図324 精米の入手経路と購入単価

資料：公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」（2025年7月分）

https://www.komenet.jp/pdf/shouhi-doukou_25082527.pdf

注：全国の消費世帯モニター約2000世帯を対象としたインターネット調査で、複数回答である。

出典：フード・マイレージ資料室 <https://food-mileage.jp/>

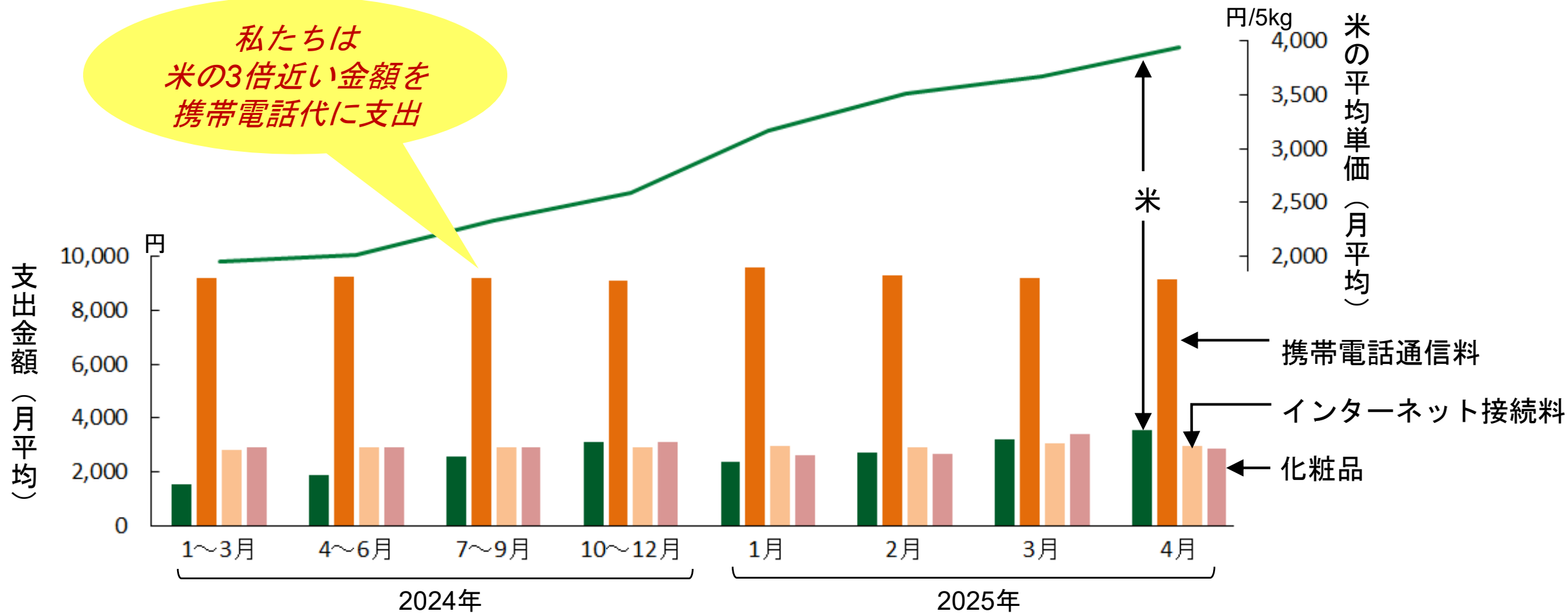


図318 家計の支出金額の推移（月平均）

資料：総務省「家計調査」から作成。

出典：フード・マイレージ資料室 <https://food-mileage.jp/2025/06/15/mame-318/>



自作の幟



榎田みどりさん
(農業ジャーナリスト) も
手作りのプラカードを持って
行進



鈴木宣弘先生
(東京大学大学院) と



大斎原（和歌山・田辺市本宮町、2025.6/10）



- **FBページ**「フード・マイレージ資料室(分室)」
<https://www.facebook.com/foodmileage/>



- **メールマガジン**
「F. M. Letterーフード・マイレージ資料室通信」
【月2回配信、無料】
<https://www.mag2.com/m/0001579997.html>



ご清聴
有難うございました。